

見沼田んぼ・野草スケッチ「ミゾカクシ」 溝隠

科名：キキョウ科ミゾカクシ属

花言葉：意表をつくのが得意な人。



2012. 6. 24 (日) 晴れ 大間木公園の休耕田にて

この野草は、湿地や田畑の畦に6月ごろ少し背の高い草の下などに薄紫色の小さな花があちこちに咲いています。注意して見ていないと踏みつけたり、つい見逃してしまいます。



「ミゾカクシ」 キキョウ科ミゾカクシ属

原産地：	
生育地：	北海道から琉球まで分布し、日本国外では中国、インド、マレーシアに分布する。多年草
茎 丈：	細くて横に這い、節ごとに葉をつけ、根を下ろす
葉：	葉は互生、間隔を置いて付き、長さ1-2cmで狭い披針形、葉柄はなく、縁には低い鋸歯がある。葉は黄緑でのっぺりしており
花期：	6-10月
花・花色：	径1cmほど、唇形花、白から薄い紫を
種子：果実	
特徴：	漢方薬の基本となる50種の薬種の一つである
名前の由来：	「ミゾ（溝）」の名は湿性の高い場所に自生することからで、「カクシ（隠）」は上述の通り茎が地を這い小群落を作るので「溝を隠すようである」ことからが一般的です。アゼムシロ（畦筵）ともいう。